



保健だより

2021.4.1 南青山病後児保育室



爽やかな風が心地よい季節となりました。
ご入園・ご進級おめでとうございます。

病後児保育室の前に立派な桜の木があるのですが、毎年開花するたびに「今年も新年度がはじまる」とワクワクした気持ちになります。

見事に咲いている時だけではなく、新緑や紅葉、落ち葉の季節など1年を通して楽しむことが出来、はじめて病後児保育室に来て最初は泣いているお子さんもこの景色をみて落ち着き、泣き止んで遊びだすこともしばしばです。

毎年この時期「治ったと思ったらまたすぐに風邪をひいてしまってホトホト困っている」と言った内容のお話を沢山の保護者の方から伺います。

病後児保育室で皆さんとご一緒していると、この過程を通り過ぎなかったお子さんの方が少ないのではないかな？と感じています。

もともと乳幼児は免疫の力も弱く、ウイルスに対する抗体を殆ど持っていません。

集団生活はウイルス・細菌のバーゲンセールのように。風邪をひくと鼻やのどの粘膜が荒れて新しい菌が侵入しやすくなります。更に体力が低下することで免疫の力も落ちていきます。そのためいちど風邪をひくと次の風邪に罹りやすくなります。熱が下がり登園をはじめたら早速新しい風邪をもらってまた熱を出すことも多々みられます。

働きはじめたばかり、あるいは復帰したばかりの中で保育園からお迎えの連絡が入ったり何度も「お休みさせて下さい」はとても言いだしづらいのではないかな。と想像します。残念ながら、集団生活の中で保育士さんがどんなに気をつけていてもこれを防ぐことは出来ません。風邪を予防するお薬もありません。

それでもこの状況がいつまでも続くわけではありません！

風邪をひくたびに免疫ができていきます。繰り返していくうちに多くの免疫が出来、成長に伴い体力もついて、より免疫力が高まるため風邪をひく回数もグッと減っていきます。

熱や咳などの症状がある程度落ち着いたけれど、「登園するには少し早いかな」

このような時には病後児保育室の利用も検討してみてください。

お子さんと保護者の皆さんの応援団になれるよう、ここでお待ちしております。

※現在コロナウイルス感染症の影響で、風邪症状でのお預かりが難しくなっています。

通常のお預かりができる日常へ1日も早く戻りますように…

今年度もどうぞよろしく願い致します。

